

諏訪湖流入河川の宮川に係る流域汚濁負荷実態調査（中間報告）

長野県環境保全研究所 水・土壌環境部

1 調査目的

平成 29 年度に実施した水質調査により、融雪期の汚濁負荷が高い傾向が見られた。そのため 2 月～4 月にかけて複数回の測定を実施し、汚濁負荷の流出の傾向を把握する。

2 調査内容

ア調査日

4 半期に 1 回以上、平常時及び降雨時に実施した。現在測定した日時は、以下のとおり。

- ・平常時：2019 年 4 月 19 日、5 月 9 日、9 月 26 日、12 月 10 日
- ・降雨時：2019 年 5 月 22 日、10 月 23 日、12 月 3 日

降雨時の採水は、降雨終了から 24 時間以内に行った。

イ測定項目

COD、全窒素、全りん、SS、透視度、電気伝導率、pH、気温、水温、流量

ウ調査地点

宮川の本川（2 地点）及び支川（14 河川・14 地点）
合計 16 地点（図 1）

※ H29(2017)年度の採取地点と同一地点。
測定地点数は、一部削減した。



図 1 採水地点

3 結果概要【全窒素 抜粋】

現在までの測定結果から、全窒素の濃度範囲を示す（図 2、図 3）。

H29 年度と同様の傾向を示し、宮川支流の測定地点を、左岸グループ・右岸下流グループ・右岸上流グループの 3 グループに分けることができた。

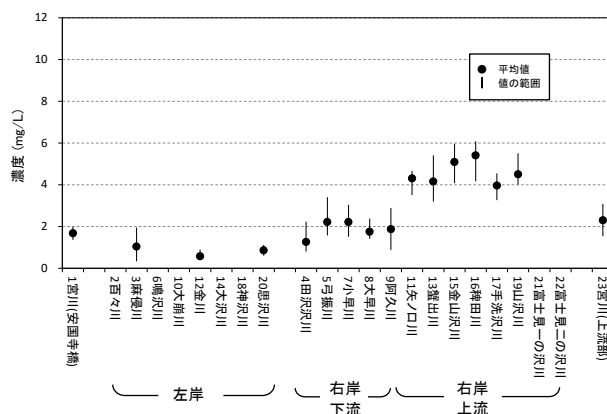


図 2 平常時の全窒素の濃度範囲

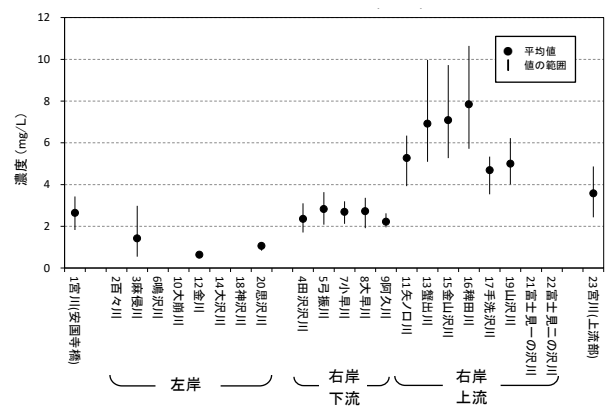


図 3 降雨時の全窒素の濃度範囲

4 今後の予定

今後、さらに 2・3 月の融雪期に採水・分析を行う予定である。また、年間に発生する負荷量等についても検討を行う予定である。